

野蒜復興新聞

未来へ向けて 広がる世代

若い世代が創る未来の野蒜

7月20日(月)海の日の祝日、野蒜海岸に400名以上の人が集まりました。地元の子どもたちにも本物の地引網を体験してもらいたいと野蒜地域の若者たちが中心となって企画し、各地域の漁師たちやボランティアの協力で実現となった地引網体験イベントが開催されました。去年に引き続き二回目となったこのイベントは、若干雨に降られながらもどしや降りにはならず、去年よりも多くの参加者があり、非常に賑やかなイベントとなりました。



した。海岸には大きな生け簀も設置され、たくさんの子どもたちが獲れた魚などの生き物を不思議そうに触ったり、何という魚なのかと質問する光景があたりを彩っていました。当初、2回の地引網の実施を予定しておりましたが、好評により急遽3回の実施が決まり、子どもたちは汗をかきながら一生懸命に網を引いておりました。このイベントを企画した奥松島ビーチハウス組合の阿部さんは、「子どもたちに喜んでもらえてよかったです。また来年もやりたい」と語っておりました。

阿部さんは野蒜まちづくり協議会の復興部会にも所属しており、野蒜のまちづくりに積極的に関わっています。子どもたちが笑顔になるような野蒜を創りたいと、若い世代が活躍しています。野蒜の将来を担う若者に、大きな期待が寄せられています。

7月17日(金)、第4回野蒜まちづくり協議会役員会が開催されました。今回新たに復興部会から提案された市への要望事項について、事務局が中心となって精査を行い、本会において提出が承認されました。要望内容は、

- ①新野蒜駅周辺にて一部街灯が不足している場所があり、防犯の観点から増設をしてもらいたい
- ②野蒜駅までの道路に間違いやすい場所があるため、主要場所に大きな案内看板を設置してもらいたい等、大きく二点です。

野蒜まちづくり協議会として、まだまだ対処すべき問題や課題はありますが、地域住民や行政と協力しながら、対処していきます。

また、今年も10月4日(日)に「のびる地区民まつり」が開催されます。7月22日(水)には第1回目の実行委員会が実施され、お祭り当日までの流れが確認されました。お祭りや人の想いが野蒜の世に伝えられていきます。

野蒜まちづくり協議会

高台の新しい住所表記の名称募集締め切る

集団移転する高台の新しい住所表記の名称を募集していましたが、7月31日(金)で募集を締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。今後の予定として、8月中旬に住所表記検討委員会を中心に、皆さまからご応募頂いた多種多様な名称から候補案を選考した上で、再度皆さまへ投票をして頂く予定です。9月中には皆さまから投票頂いた結果をふまえ、高台の新しい住所表記名称を決定、11月までには役員会と総会での承認を得て、来年3月の市議会での議決を目指します。野蒜北部丘陵振興協議会では、「野蒜」の名称は残しつつ、簡素で親しみのある名称を決定していきたいと考えておりますので、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。



▲多数のご応募ありがとうございました

野蒜北部丘陵振興協議会 災害公営住宅部会 住戸位置決めに向けて

災害公営住宅部会では、4月に実施した「意向状況調査」の結果を踏まえ、6月10日(水)に第6回部会、7月8日(水)に第7回部会を開催し、住戸プランの配置やペットエリアの設定、優先世帯への配慮の方法等を含めた住戸位置決めルール等について検討を行いました。課題は山積していますが、入居を待ち望んでいる皆さまの想いを汲みながら、より住みやすい環境を整えられるよう、今後も議論を重ねてまいります。なお、8月下旬から9月上旬には、入居予定者の皆さまに対し、完成した全体配置図や住戸プラン集について説明する機会を設けたいと考えています。日程については後日ご



▲6月10日(水)の災害公営住宅部会の様子

案内しますので、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加ください。

野蒜を知る旅

長江氏の深谷保支配と三分一所氏

中世の野蒜地域は桃生(ものう)郡深谷保に含まれ、1189年源頼朝の奥州平泉征伐後、豪族鎌倉権五郎景政の曾孫長江太郎義景がこの地を賜って、代々深谷保の中心小野城(桜ヶ館)に住したとされる。しかし、1460(65)年には長江氏は次第に大崎氏に圧迫され、宗武の代にはついに11代藩主の伊達持宗の指揮下に入った。その後、長江盛景の子の三兄弟が深谷保を分領することとなった。長男勝景が小野城、次男景重が矢本町、三男家景が野蒜を支配し、家景は三分一所(さんぶいっしょ)氏を称した。長男の勝景は、1588年の大崎攻撃で伊達政宗の怒りを買って、さらに出羽の最上義光と通じたとして、政宗の命により殺されたという。長男勝景が倒れたことにより、長江氏は滅亡したが、三分一所氏は伊達家中に再興され、代々仙台藩に仕えていた。なお、野蒜地域中下地区の定林寺には三分一所氏の墓がある。(宮城県姓氏家系大辞典より一部抜粋)

野蒜地域は鎌倉時代から歴史があったんだね。伊達政宗とも繋がりがあつたなんて知らなかったよ。



野蒜まちづくり協議会
イメージキャラクター
マックン

野蒜まちづくり協議会 ポータルサイトのご案内



続きはWebで!

野蒜まちづくり協議会

検索

「東松島まちづくりポータルサイト e-コミ!ねっと」は、様々な分野で行われている市民活動を応援し、「協働のまち東松島」を実現するための「野蒜まちづくり応援サイト」です。野蒜まちづくり協議会のページでは、デジタル版の野蒜復興新聞や野蒜北部丘陵振興協議会の議事録も閲覧、ダウンロードが可能です。また、イベント等のお知らせも随時行っていますので、ぜひご覧になってください。